

広報・教育部門

応募事例名

下水道見学は二刀流

～VR(仮想現実)を活用した広報～ 応募団体名)名古屋市上下水道局

くらしを支えて110年



臨場感ある施設見学(施設まるごとVR化)！



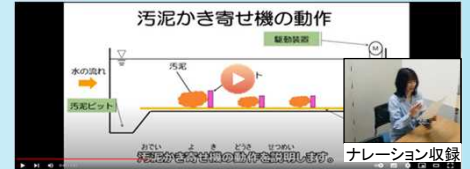
【PRポイント】

- ・普段は見えない設備を見える化！
- ・職員の手作り動画などで、水処理の各工程をわかりやすく説明！
- ・体験されたお客さまからも好評価！



▲水中の設備の画像

▲イベントでVRを体験



▲水処理の説明動画

迫力ある工事現場見学(VRとVFX技術を活用)！



【PRポイント】

- ・臨場感と没入感を高めた360度映像！
- ・掘進中のシールドマシン内部にもVRなら行ける！
- ・クイズを出題、誰でも楽しみながら工事見学！
- ・キャラクターによる親しみやすい説明で工事を身近に！
- ・イベントでのVR体験は毎回好評！



▲ 360度撮影の状況



▼ VR体験の様子

取組みに関するエピソード



施設管理課 技師 梶田拓弥

・お客さまにわかりやすく、理解していただくことを意識して取り組みました。

・動画の編集やナレーションなどは、職員が手作りで行ったため苦勞しましたが、お客さまの喜ぶ姿を見て、頑張ってたよかったです。

・コロナ禍で建設現場の見学会が実施できない中で、新たな臨場体験が出来るように新しい技術を取り入れました。

・「迫力があつた！」「面白かつた！」等従来の見学会同様の評価を受けることができました。



建設工事事務所 技師 鈴木 純